



2026 Recruit Guide  
新規採用職員案内



職員採用に関しては

関東経済産業局 総務企画部 総務課 人事係

〒330-9715 埼玉県さいたま市中央区新都心1-1さいたま新都心合同庁舎1号館9階

☎048-600-0212(直通)

メールアドレス: bzl-recruit-kanto@meti.go.jp

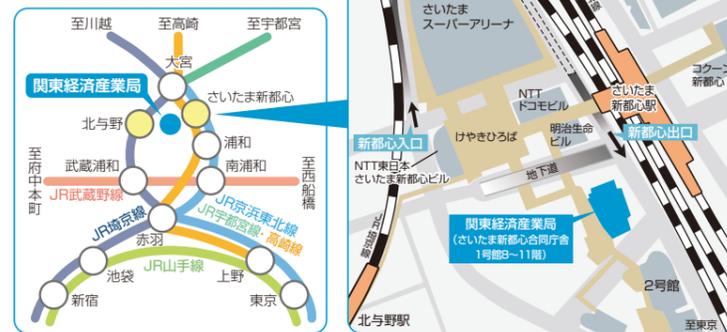
新規採用職員募集案内:

[https://www.kanto.meti.go.jp/annai/saiyo/shinkisaiyo\\_index.html](https://www.kanto.meti.go.jp/annai/saiyo/shinkisaiyo_index.html)



関東経済産業局へのアクセス

- JR京浜東北線・宇都宮・高崎線「さいたま新都心」駅 下車徒歩約5分
- JR埼京線「北与野」駅 下車徒歩約10分



**リサイクル適性** この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づく基本方針の判断を満たす紙を使用しています。  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。





Message

局長からのメッセージ

私達と一緒に行政官として働きませんか

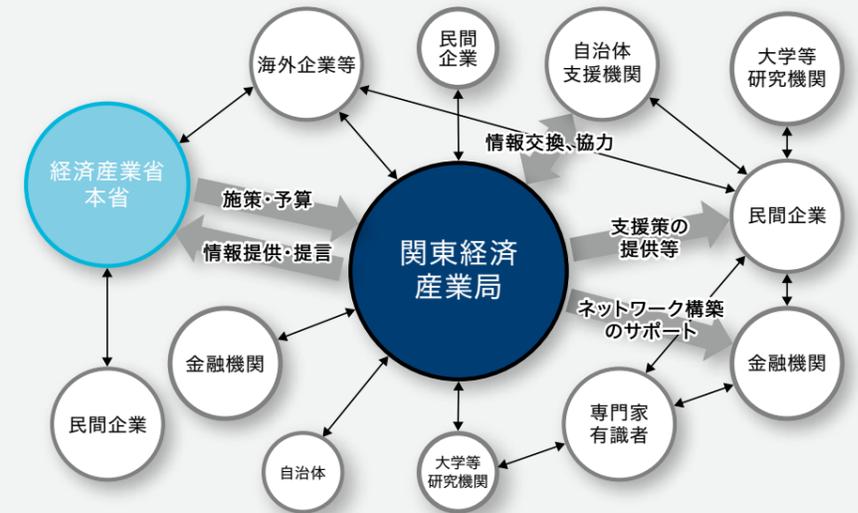
行政官というと多少固い印象があるかも知れませんが、法律や予算制度を作り、ルールに従って執行する。確かに行政官の仕事には厳格さ、正確さが求められます。でも、変化する国内外の動向や企業活動の実態に対応した制度を考え、その制度趣旨に適った公平な執行をする創造性や柔軟性も求められる仕事なのです。イノベーションに挑戦する、厳しい経営環境の中で事業を継続する、賃金を引き上げる、適正な取引環境を作る、安全な消費生活を実現する、環境

負荷を抑制する。こうした世の中の様々な動きに対して、関東経済産業局では自ら現場を見て、企業経営者、自治体、消費者の方々と直接対話しながら仕事に取り組んでいます。複雑な世の中の繋がりを俯瞰的・多角的に捉える視点と理屈の通った対話力を身に付け、多くの人の意見に耳を傾けながら、将来社会のあるべき姿を考える仕事に少しでも関心を持たれた方は、どうぞ関東経済産業局の門を叩いてみて下さい。

関東経済産業局長 佐合 達矢

事業者支援のため「橋渡し役」として活動しています。

関東経済産業局は全国8箇所に設置されている経済産業省の地方ブロック機関であり、広域関東圏(1都10県=茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県)を行政の区域にしています。私たちは、広域関東圏の最前線で活躍されている企業、大学、自治体、関係機関等の皆様や消費者の皆様に対して、成長産業の創出や育成、起業・創業の促進、中小企業の経営力強化や取引の適正化、地域資源の活用による稼ぐ力の強化、地域の特性に応じた産業振興とまちづくり、地域エネルギーの振興やエネルギーの安定供給、安心安全に暮らせる社会の実現などを目指し、様々な経済産業政策の実施に取り組んでいます。また、政策を実施するだけでなく、皆様からの現場のニーズや要望をキャッチして、より使い勝手の良い政策への改善や新たな政策提言に努めています。

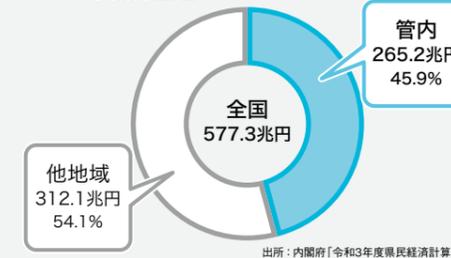


日本経済の4割を占める「広域関東圏」

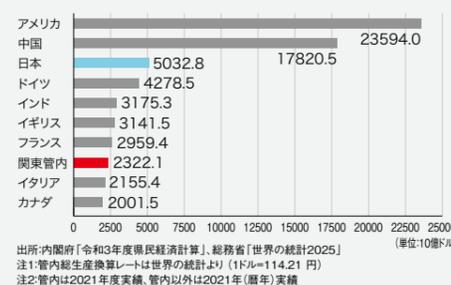
首都圏を含む広域関東圏は、日本経済の約4割を占める経済圏です。その規模は、イギリスやフランスについて、世界第8位相当の経済規模を誇っています。

ここでは、世界トップレベルの科学技術・研究機能、高度な製造技術や専門知識を有する優秀な企業や人材が多数存在しており、新しい産業や雇用を創出する「我が国最大の苗床」機能があります。我が国経済の産業競争力強化や活性化を図るためには、創業や新事業分野に果敢に挑む企業や人材をこの地域から出していくことが鍵といえます。

2021年度総生産



管内総生産の国際比較



管内経済の主な指標



出所:面積:国土地理院「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」/人口:総務省「令和6年」人口推計/世帯数、就業人口:総務省「令和2年国勢調査」/県内総生産:内閣府「令和3年度県民経済計算」/事業所数、卸売業年間商品販売額、小売業年間商品販売額:「令和3年経済センサス-活動調査」/製造品出荷額等:経済産業省「2023年「経済構造実態調査(製造業事業所調査)」/特許出願件数:特許庁「特許行政年次報告書2024年版」/乗用車登録台数:「令和6年」日本自動車販売協会連合会-全国軽自動車協会連合会

Contents

- 04 組織紹介
- 06 各部業務紹介
- 14 期待の新人紹介
- 18 技術系職員の活躍
- 20 関東経済産業局の枠を超えて
- 21 職場環境改善
- 22 人材育成と能力開発
- 24 職員の1日
- 25 ワークライフバランス
- 26 よくある質問
- 27 採用担当からのメッセージ

# 関東経済産業局の組織概要

地域経済産業の発展、資源エネルギーの安定的・効率的な供給の確保に向けて

令和8年1月1日現在

## スローガン・組織理念

### サポートします!! 地域経済

— 広域関東圏から日本を元気に —

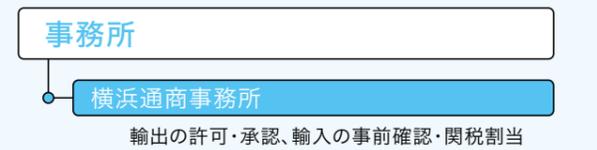
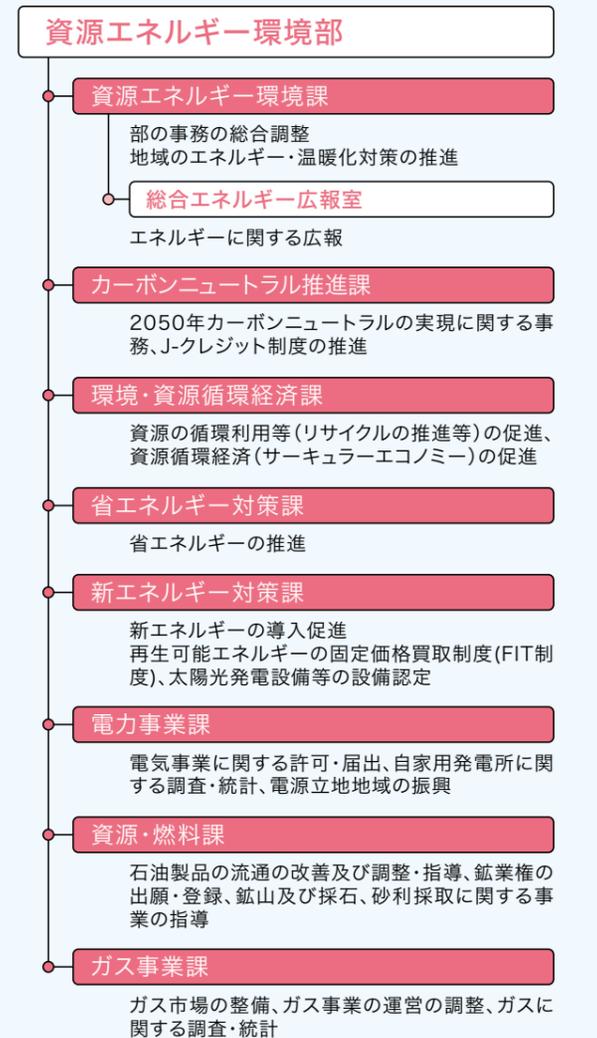
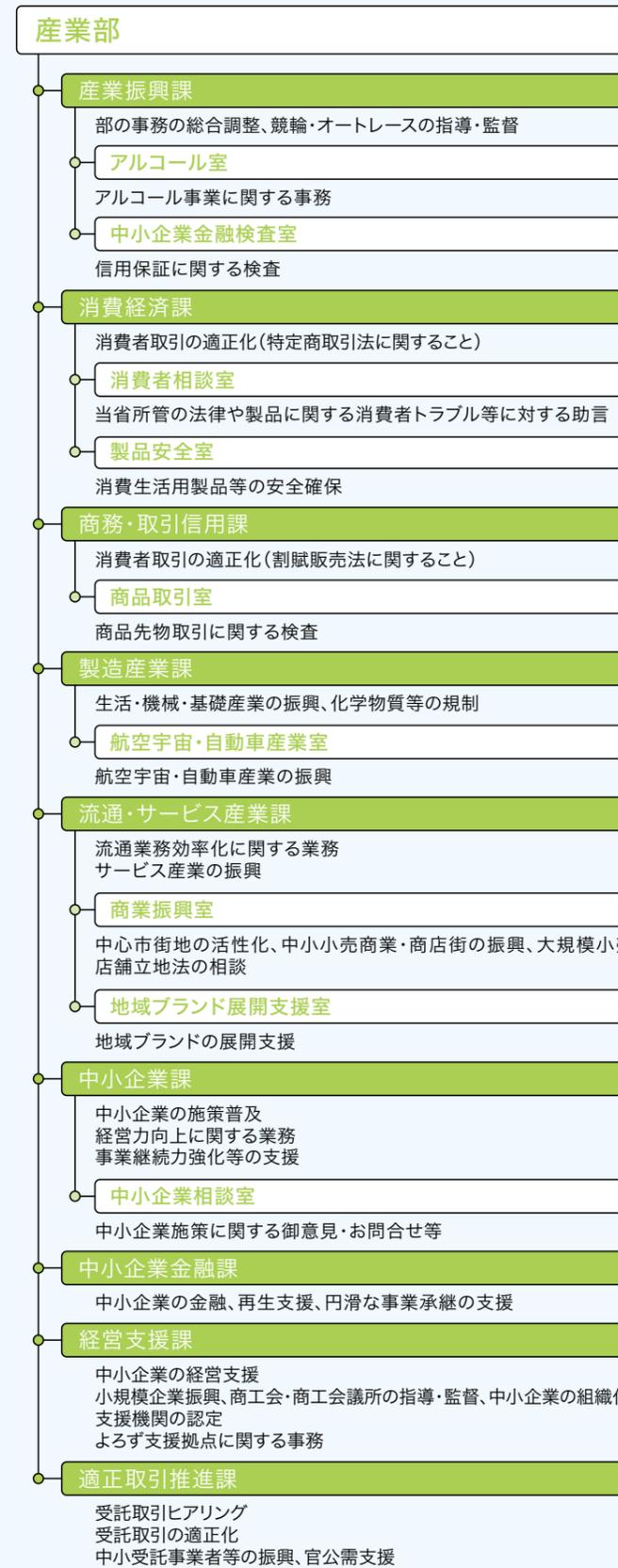
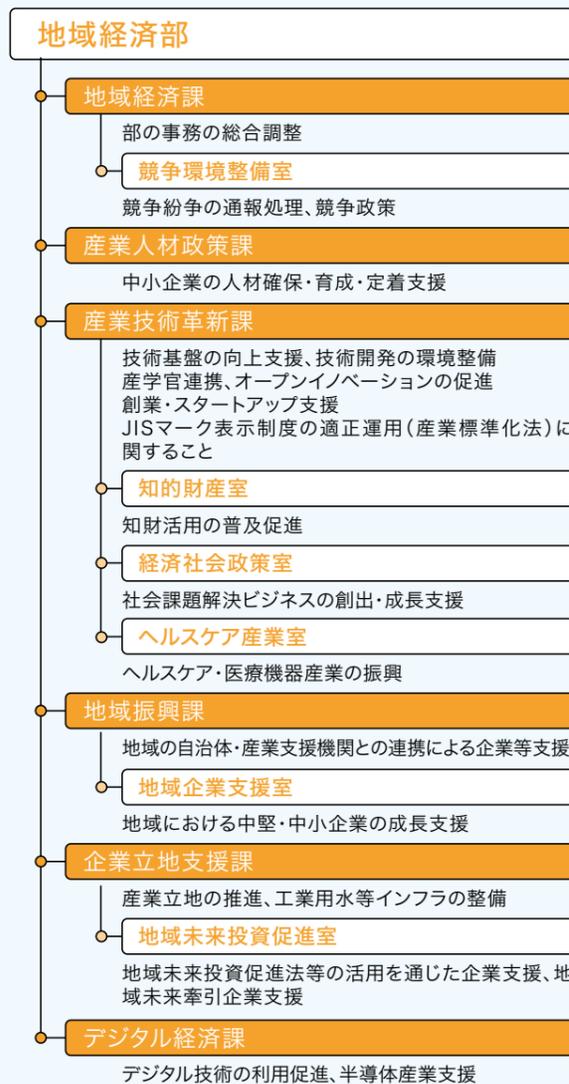
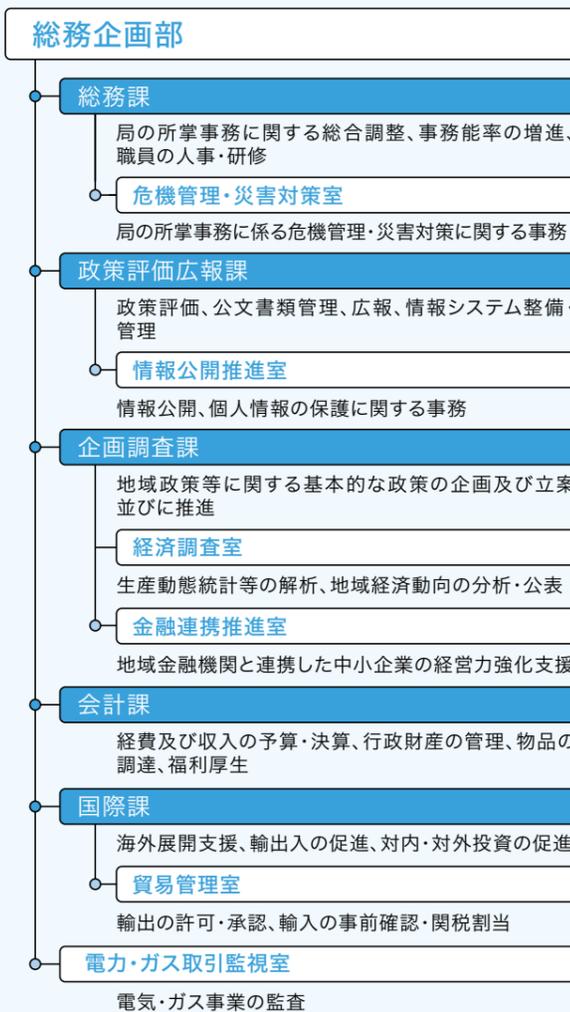
関東経済産業局は、管轄地域である広域関東圏(1都10県)において、地域経済の活性化や健全な発展に向けて取り組むにあたり、令和元年5月14日に組織理念を策定しました。

#### 組織理念

私たち関東経済産業局は、  
地域経済の活性化や健全な発展に向けて、  
信頼される組織を  
存在価値のある組織を  
活力あふれる組織を  
目指します

私たち関東経済産業局は、自らの責務を自覚し、業務を適正に執行するとともに、地域の皆様の目線に立ち、寄り添った支援を行い、地域の皆様から「信頼される組織」であり続けるよう努めます。そして、多様な地域の課題を解決するため、また、あるべき政策を実現するために、事業者、支援機関、自治体をはじめとする多様な主体とのネットワークを形成し、何ごとにも挑戦の意識をもって改革・改善に取り組み、地域の皆様に価値を提供する「存在価値のある組織」であり続けるよう努めます。職員一人一人が個の力を高め、組織力を結集し、乗り越えるべき課題に果敢に挑戦する「活力あふれる組織」であり続けるよう努めます。「未来に誇れる日本をつくる」という経済産業省のミッションのもと、関東経済産業局では地域経済の活性化に向けて、こうした考えを基盤に私たちは日々活動しています。

## 組織図



職員数: 365名

男性: 240名	女性: 125名
事務官: 309名	技官: 56名



## 総務企画部



### 現場に近い局ならではの 新たな政策づくり

重点施策の策定、新たな地域政策の企画、地域金融機関との連携プログラム推進、地域経済動向の分析を所管する企画調査課でとりまとめや調整を担当しています。

地域や企業にとって役立つ施策の検討に向けて、地域政策やデータサイエンスに関する有識者とのネットワーク構築や、現場で得られた知見・ノウハウを局内でお互いに共有し合う仕組みづくりをしており、局ならではのフットワークを生かした取組を幅広く実行できるところにやりがいを感じています。

また、局内の様々な部署の若手職員を主体として、「本社機能の地方移転」や「押し活産業」などのテーマにおいて政策提言を行うプロジェクトを新たに運営しています。

### 若手が挑戦できる、 多様な「ヒト」の魅力

当局では、中小企業・スタートアップ・自治体・金融機関・大学など様々な熱量の高い皆様に壁打ちいただきながら、「現場発」のアイデアで事業を創り上げていくことができます。若手の発想を面白がってくれる上司や同僚も豊富な経験やネットワークを持っており、当局最大の強みの一つは「ヒト」の魅力だと思います。

私自身、これまで本省、独立行政法人、市役所への出向を経て、グローバル(海外展開)からローカル(まちづくり)まで視野を広げることができました。

ぜひ説明会や官庁訪問で多くの当局職員とお話してみてください。自分らしさを発揮できるフィールドを見つけれられるよう応援しています！



General Coordination  
and Policy Planning  
Department

総務企画部  
企画調査課

中村 慧

Nakamura Kei  
平成21年度採用・行政



### 国内企業を守るための 輸出管理

日本企業の製品が他国で軍事転用されたというニュースを聞いたことがあるかもしれません。自社の製品・技術が軍事転用されてしまうと、企業の信頼失墜につながってしまいます。このような事態を防ぐため、特定の貨物の輸出、もしくは特定の技術の提供を行う場合には、外国為替及び外国貿易法(外為法)に基づき、経済産業大臣の許可・承認を得なくてはならないことになっています。

当室では、この輸出許可申請を受け付け、審査を行っております。審査では、輸出する貨物の用途や最終需要者をきちんと確認した上で許可を出しています。また、日々変化する国際情勢に対応するための法令改正も多く、常に勉強しながら業務を行っています。

### 「国の政策」と「現場の声」

国という広い視点を持ちながら現場に近い距離で仕事ができることに魅力を感じ、入局しました。これまで、輸出審査のほか、車両競技業務や万博の機運醸成に携わり、どの業務においても、本省の政策を意識しつつ企業や自治体の方から直接現場の声を聴き、局職員として地域産業の発展や地域経済の活性化にどう貢献できるかを考えながら業務に携わってきました。

局内の雰囲気はとても穏やかで、働きやすい環境が整っています。入局直後や異動後で分からないことがあっても、気軽に質問できる上司が沢山いるので、不安を抱えずに成長することができると思っています。



General Coordination  
and Policy Planning  
Department

総務企画部  
貿易管理室

近藤 彩加

Kondo Sayaka  
令和6年度採用・行政

## 地域経済部



### 地域・企業と政策をつなぐ

当局の業務は、「現場に近い」とイメージされる方も多くかと思えます。まさに、地域振興課では、現場に出向き、地域や企業へ国の政策を届けるとともに、現場の声を政策につなげていくための業務に携わっています。地域に寄り添った支援に向け、各都県の担当者が各地域を飛び回っているため、課員の半数以上が席にいない日もあります。また、人事交流等により、自治体や金融機関、民間企業から多様な人材が集まっていて、日々賑やかに議論が交わされています。ちょっとした雑談からアイデアが生まれることもあつたりしますね。机上の議論だけではなく、様々な業種・分野の経営者と直接対話をし、経営課題を把握しながら支援する中で、自身の知識向上にもつながりますが、何より課題解決の一助となり、経営者から喜びの声を聞けたときは、とてもやりがいを感じます。個社支援のみならず、自治体の政策を面的に後押しするなど、地域経済の活性化に向けて、様々な視点でアプローチ出来るように日々奮闘しています！

### 現場主義だからこそ見える世界観

地域の経営者や支援者の方と対話しながら幅広い業務を経験でき、現場で実践しながら常に学び続けることのできる職場だと思います。地域や企業には様々な成長ストーリーがあり、読み物では感じ取れない温度感が現場にはあります。現場では、嬉しいことだけではなく、時には耳が痛い厳しいお言葉をいただくこともあります。本音を話していただけたことへの感謝とそこにこそ真の政策課題があるのではないかと自問自答するように心がけています。関東経済産業局では、「現場の声」を大切に、若手も自ら考え、実践に移せる風通しの良い職場です。是非一度足を運び、肌で感じてみてください。



Economic Policy Department

地域経済部  
地域振興課

村瀬 一世

Murase Issei  
平成15年度採用・技術(土木)



### 次世代技術を支える半導体人材育成

AIなどの先端技術を支える半導体は、近年その重要性を一層高めている一方、人材不足が喫緊の課題となっています。デジタル経済課では、DX推進やロボット導入支援に加えて、半導体産業支援や人材育成・確保に注力しています。その取組の一環として開催した企業見学会や講演会では、企業と教育現場が直接対話することで、地域企業の特徴や業界の将来性を学生に伝えることができ、現場の手応えを感じる印象深い経験となりました。当課は若手職員が多く活気があり、相談しやすい雰囲気の中で、新たなテーマにも前向きに取り組む姿勢が根付いています。

### 現場の声が政策につながる瞬間

関東経済産業局では、国という大きな枠組みの中で責任ある業務に携われる一方、広域関東圏という地域に根差した視点も求められます。企業や自治体・教育機関との対話を通じて、現場の課題やニーズを政策に反映する機会が多いのも特徴です。私自身、エネルギー、国際、地域経済など多様な分野に携わってきましたが、いずれも日本経済を支える重要な業務であると実感しています。制度の改善につながるヒントを得て、施策の効果を現場で確認できることは、大きなやりがいです。局内は風通しが良く、若手でも積極的に意見を述べられる環境が整っており、主体的に業務に取り組むことができます。当局は、現場に近い距離で政策に関わりたい方や、多様な分野に挑戦したい方にとって、充実したキャリアを築ける職場だと感じています。



Economic Policy Department

地域経済部  
デジタル経済課

大西 美帆

Ohnishi Miho  
平成31年度採用・技術(建築)

産業部



消費者の「安心」を影で支える

商務・取引信用課では、割賦販売法に基づく立入検査や届出処理などの業務を所掌し、その中で私は、前払式取引分野を担当しています。

皆さんは、互助会や友の会という制度をご存じでしょうか。これは冠婚葬祭業や百貨店などで行われているもので、消費者が毎月一定額を事業者支払い、満期になると役務の提供や商品の引き渡しを受けられるサービスです。

つまり、事業者が消費者のお金を事前に預かるため、万が一事業者の経営状況が悪化すると、消費者に大きな不利益が生じる可能性があります。そうした事態を防ぐため、私たちは事業者の財務状況や運営体制に問題がないかを日々確認し、監督・指導を行っています。

対話と分析で  
企業と向き合う日々

関東経済産業局は、企業の方と対話できる機会が非常に豊富な職場です。特に現在の担当業務では、企業役員の方や経理担当の方と、経営状況や経営方針についてやりとりをしており、学びが多く刺激のある日々を過ごしています。

また、当局は多岐にわたる業務を所管していることが特徴であり魅力の1つです。異動のたびに全く新しい分野を勉強することもあります。大変な面もありますが、今の業務で培われる「経営状況を分析して企業の方と対話をする力」は、地域経済活性化に取り組む当局において、今後どの部署でも生きてくるものと確信しています。やりがいをもって仕事が出来ているこの職場を、今このパンフレットを読んでいる皆さんに全力でおすすめします。皆さんと一緒に仕事ができる日を、楽しみにしています！



Industries  
Department

産業部  
商務・取引信用課

東 佳奈実  
Higashi Kanami  
令和2年度採用・行政



「モノが運べなくなる未来」が  
こないために

皆さん、ネットショッピングで購入した商品がどうやって手元に届いているか考えたことがありますか？日本国内の流通は、その大部分をトラック輸送が支えていると言われていますが、ドライバーの高齢化や働き方改革により、モノが運べなくなるリスクが社会問題となっています。

当課では、荷物の輸送を運送会社に依頼する、いわゆる「荷主」と呼ばれる方々に対して、物流効率化を促す法律を担当しています。この法律では、例えば倉庫の前でトラックが順番待ちをする「荷待ち時間」の短縮について、全ての荷主が取り組むことを努力義務として課しています。法律に関する問い合わせや説明会対応はもちろん、物流業界の実態について、荷主や運送・倉庫会社の方々と日々意見交換を実施しています。制度の普及を通じていかに事業者の行動変容を促していくのか、重要なミッションに取り組んでいます。

「現場を知る」ということは

局は本省と現場の「橋渡し役」と言われます。現場の実態を把握するには、様々なステークホルダーの声を聞くことが重要です。局の業務においては、若手のうちから企業の経営者や経営幹部の方と接する場面も多く、そういった方々の豊富な知見や経験をお聞きすることは非常に有意義ですが、その一方で、我々にも相応の知識が求められます。日々知識の習得に励み、責任感を持って業務にあたることを意識しています。

就職先の選択にあたって、現場を知ることが一番大事です。色々な組織の説明会に参加して、たくさんの人と話をしてみてください。その中で皆さんが当局を選んでいただければ幸いです。



Industries  
Department

産業部  
流通・サービス産業課

坂田 瑛一  
Sakata Eiichi  
平成26年度採用・行政

## 資源エネルギー環境部



### GX(グリーントランスフォーメーション)で世界を変える!

GXという言葉聞いたことはありますか?私は、入局してから3年間エネルギー行政に携わっていましたが、久しぶりにエネルギー分野に戻り、部内の総括業務を担当しています。「エネルギー」、「脱炭素」、「カーボンニュートラル」という言葉を新聞で目にしない日はありませんが、これほど世界規模で重要な仕事をしているんだ!と改めて実感をしています。エネルギー政策は専門的な知識も必要になりますので、若手職員向けの勉強会や現場を知るための研修を企画したり、国のエネルギー基本計画に関する説明会を開催したりと、毎日刺激的な日々を送っています。「エネルギーの安定供給」、「脱炭素」、「経済成長」(この3つを同時に実現することがGX)を実現するため、引き続き関係職員皆で頑張っていきます!

### 驚くほど幅広いキャリアパス

19年ぶりにエネルギーの担当に戻ってきたわけですが、その間、産学連携、農商工連携、金融機関との連携、事業承継、オープンイノベーション、スタートアップ支援とあまり技術系職員とは思えないキャリアを歩んできました。この他、茨城県庁に出向した際には、県の魅力をPRする業務にも携わりました。こうした幅広い業務に関われることも関東経済産業局の魅力だと思っています。

若手職員と話をする時、決まって「職場の雰囲気良かったので志望した」と言われますが、本当にその通りだと思います。私自身、自分の選択は間違っていなかったと思っていますが、皆さんも色々な意見を聞き、実際に見て後悔のない選択をしてください。お待ちしております!



Natural Resources Energy and Environment Department

資源エネルギー環境部  
資源エネルギー環境課

鈴木 昌博

Suzuki Masahiro  
平成14年度採用・技術(土木)



### ガスのある暮らしを守る——地域の安心を支える仕事

ガス事業課では、「ガス事業法」に基づき、ガス使用者の利益保護や事業の健全な発展を目的として、許認可、登録、立入検査などの業務を行っています。私は小売事業を担当しており、事業者からの申請対応やその審査、制度に関する相談対応などを行っています。事業者と直接やり取りする機会が多いため、制度の背景や目的を丁寧に説明し、趣旨や仕組みを現場にしっかりと伝えることを心がけています。こうした取組が、安定したガス供給につながり、地域の安心できる暮らしを守ることに繋がると感じています。課内には専門性の高い職員が多く、相談しやすい雰囲気の中で、チームで協力しながら業務を進めています。

### 社会の仕組みを、支える側へ

私はこれまで、人材育成、商店街振興、部内のとりまとめ業務など、様々な業務に携わってきました。関東経済産業局は業務範囲が広く、異動のたびに法律や制度を一から学ぶ必要がありますが、その分、知識と経験の幅が広がり、自分自身の成長を実感できる環境です。

現在担当しているガス事業は、生活や産業に欠かせないインフラであり、その制度運用に携わることは、国民の安心を守る責任ある仕事です。社会の仕組みを支える側に立つことで、制度の意義や影響をより広い視点で捉えられるようになりました。

地域の安心と未来を支える仕事に、あなたもぜひチャレンジしてみませんか?

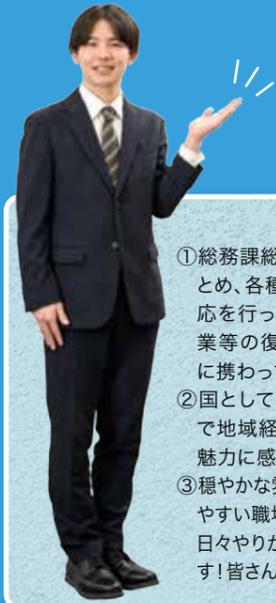


Natural Resources Energy and Environment Department

資源エネルギー環境部  
ガス事業課

森口 友稀

Moriguchi Yuki  
平成29年度採用・行政



総務企画部  
総務課

新井 裕斗  
Arai Hiroto (行政)

- ① 総務課総括係として、局内外の発注対応・とりまとめ、各種会議の運営、各種局内申請・問合せ対応を行っています。また、三陸・常磐地域の水産業等の復興や持続的な発展を後押しする取組に携わっています。
- ② 国としての広い視野を持ちながら、現場の近くで地域経済の活性化に携わることができる点を魅力に感じ、志望しました。
- ③ 穏やかな雰囲気、非常にコミュニケーションのとりやすい職場です！サポートしてくれる先輩方のもと、日々やりがいを持って業務に取り組むことができます！皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！



総務企画部  
企画調査課

宗形 萌佳  
Munakata Moeka (行政)

- ① 課内の業務の調整や都県・金融機関との調整を行っています。また、鉱工業指数という、製造業の生産活動を表す統計の作成・公表も担当しています。
- ② 現場に寄り添った企業支援を行うことや、経済圏が日本全体の約4割を占めるといった規模の大きさでの業務に魅力を感じたためです。
- ③ 関東や経済の学部出身でない私ですが、上司や先輩職員のサポートや局の研修が手厚く、学びながら楽しく業務を行っています。受験生の皆様も、ぜひ当局に興味を持っていただくと幸いです！

地域経済部 産業技術革新課  
経済社会政策室

入江 勇介  
Irie Yusuke (行政)

- ① 経済社会政策室では主にソーシャルビジネス支援と女性起業家及び女性活躍支援等を担当しており、ヘルスケア産業室では関東信越厚生局と連携し介護保険外サービスの振興、ヘルスケア企業の支援等を行っています。
- ② 国という広い視点で業務をしながら、現場の声を直接聞くことができる点に魅力を感じました。説明会に参加する中で職員の方々が、笑顔で業務説明していたのが記憶に残り決め手になりました。
- ③ ワークライフバランスが実現できる職場はなかなかないと思います。その中で、自分も成長でき、やりがいのある仕事に携わることができます。文章では伝わらない雰囲気や魅力があり、百聞は一見にしかずですので、まずは説明会へお越し下さい！



地域経済部  
地域振興課

芝原 菜々実  
Shibahara Nanami (行政)

- ① 中堅・中小企業の成長支援および、自治体連携の深化に取り組んでいます。また、RESAS(地域経済分析システム)を活用し、自治体や教育・金融機関へ出前講座等を行っています。
- ② 国の視点を持ちつつ、現場の声を直接聞き、支援に繋がれる点に魅力を感じ、志望しました。
- ③ 優しく温かい上司や先輩に囲まれながら、前向きに業務に取り組める環境です。地域支援に少しでもご興味があれば、ぜひ説明会へお越し下さい！



地域経済部  
地域経済課

及川 朋也  
Oikawa Tomoya (行政)

- ① 局内外における関係部署との調整、会議の運営などの業務のほか、企業ヒアリング、政策の検討に関わる業務にも取り組んでいます。また、部の総括係として部内の連携強化に向けた企画・運営も行っています。
- ② 地域や企業の課題を直接把握し政策に反映できる点に魅力を感じました。最終的には説明会や座談会に参加した際、職員の方々の雰囲気から、ここで働きたいと強く思いました。
- ③ 尊敬できる先輩方に囲まれながら、積極的に業務に挑戦でき、日々成長を実感できる職場です。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

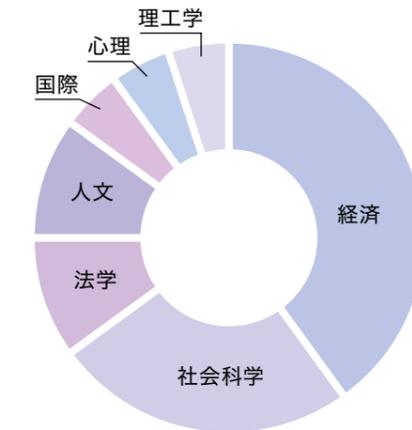
## 期待の新人紹介

令和7年度採用の新規採用職員も、既に各所属先で活躍しています！

新規採用職員に3つの質問

- Q1 業務内容を教えてください。
- Q2 志望理由を教えてください！
- Q3 受験生へのメッセージ

## Q4 出身の学部・学科はどこですか！



経済	8
社会科学	5
法学	2
人文	2
国際	1
心理	1
理工学	1

産業部  
産業振興課

持村 優太  
Mochimura Yuta (行政)

- ① 部内の総合調整や取りまとめなどの総括業務に加え、競輪・オートレースの主催者からの届出の処理や施設調査を担当しています。
- ② 国という広い視点を持ちつつ、現場に近い立場で地域に密着して地域経済の活性化に携われる点に魅力を感じました。説明会で感じた職員の温かい雰囲気も決め手の一つです。
- ③ 若手が挑戦できる環境が整っており、優しく頼りになる先輩方に囲まれ、とても働きやすい職場です。まずは説明会への参加をお待ちしております！



地域経済部  
産業人材政策課

太田 英里  
Ota Eri (行政)

- ① 総括係としての課内とりまとめ業務や、各種会議に関する労働局・都県との調整や資料作成を行っています。出張に同行し、現場の貴重な声を聞く機会も多いです。
- ② 現場に寄り添いつつ、国の機関として規模の大きな仕事に携われることや、職場の温かい雰囲気に魅力を感じて志望しました。
- ③ 優しく、尊敬できる上司や先輩方に囲まれ、ワークライフバランスも充実している素晴らしい職場だと思います。一緒に働けることを楽しみにしています！



地域経済部  
産業技術革新課

池谷 真穂  
Iketani Maho (行政)

- ① 課内の調整等を行う総括業務のほか、地域企業の新事業・新製品開発を後押しする産学連携事業やオープンイノベーションの促進に取り組んでいます。
- ② 国の機関として規模の大きな仕事ができる一方で、様々な企業と関わり、現場主義で地域経済の発展に取り組めることに魅力を感じました。
- ③ 優しくて頼りになる上司や先輩に囲まれ、1年目から様々な挑戦ができる素晴らしい職場だと思います。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！

産業部  
流通・サービス産業課

若井 奏  
Wakai So (行政)

- ① 課の総括として課内調整や発注対応を行うほか、物流2024年問題への対応として、法改正の周知や物流効率事業の認定を行っています。
- ② 広域関東圏というマクロな視点と、企業との距離の近さを活かし、地域の声を政策に反映できる点に魅力を感じ、志望しました。
- ③ 風通しが良く、周囲と相談しながら着実に業務に取り組める環境です。興味があればぜひ説明会にご参加ください。



産業部  
製造産業課

日渡 朔哉  
Hiwatashi Sakuya (行政)

- ① 局内外との調整、問合せ対応、種の保存法に基づく業務や鉄鋼関連調査、中小企業の研究開発補助金である「Go-Tech事業」に係る執行管理や事業化支援などを担当しています。
- ② 地方局として現場の声を拾いながら、国の機関としてのリソースを生かした経済産業政策を多角的に実施できる組織であり、個人としても幅広い業務に携われる点に魅力を感じました。
- ③ ワークライフバランスが整った環境で日々やりがいと成長を感じることができます。皆さんとともに働ける日を心待ちにしています。





産業部  
中小企業課  
**伊藤 凜々子**  
Ito Ririko (行政)

- ① 中小企業課では幅広く中小企業支援を行っておりますが、特に中小企業の生産性向上を目的とした事業計画の認定業務を担当しています。
- ② 国の機関としての視点を持ちながら、現場の声を施策に反映することができる点に魅力を感じました。また、説明会に参加した際の職員の雰囲気決め手となりました。
- ③ 優しく頼れる職員の方々に囲まれ、のびのびと働ける職場です。ぜひ説明会や官庁訪問に参加してみてください!



産業部  
経営支援課  
**宇野 すみれ**  
Uno Sumire (行政)

- ① よろず支援拠点の委託契約、検査・支払、予算執行管理をはじめ、中小企業庁や全国本部との調整を行っています。調整を通じて拠点運営を円滑に進めるための総合的な支援を担っています。
- ② 国の機関でありながら広域関東圏の多様な企業を支え、地域経済の活性化に直接関わることができる点に魅力を感じ志望しました。
- ③ 雰囲気が良く、困った時にはすぐに相談できる環境が整っている風通しのよい職場です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています!



産業部  
中小企業金融課  
**薄井 春彦**  
Usui Haruhiko (行政)

- ① 当課では中小企業を支える支援機関の補助・委託事業を行っており、特に中小企業者の信用を保証する信用保証協会の補助事業を担当しております。
- ② 関東圏の各地域における中小企業者の経営課題について現場の実情を理解し、国という広い視点から課題解決に向けた支援を行いたいと思い、志望しました。
- ③ 上司や先輩方からのサポートのもと主体的に業務に取り組むことができ、自分に合った働き方で日々新しい発見を経験できる職場です。まずは説明会への参加をお待ちしております。

プライベートでも同期で集まっています!



産業部  
適正取引推進課  
**小向 雄大**  
Komukai Yuta (行政)

- ① 課内の取りまとめを行う総括業務のほか、公共発注(官公需)による協同組合等の受注促進に向けた業務等を担当しています。
- ② 中小企業の成長支援に携わりたいと考え志望しました。また、現場との距離も近いので、生の声を自分の業務に活かすことができる点に魅力を感じました。
- ③ 1年目から積極的に意見を出し、気軽に相談することができる点が当局の魅力の1つだと思います。自分の成長を感じやすい職場だと思いますので、ぜひ説明会などにも参加してみてください!



産業部  
商務・取引信用課  
**恩田 菜奈**  
Onda Nana (行政)

- ① 当課では、消費者保護に関する業務を行っています。総括業務のほか、ゴルフ事業者の届出、割賦販売法に基づく許可・登録業務、立入検査業務に携わっています。
- ② 国の視点を持ちつつも現場主義を重視しており、規制から振興まで幅広い分野を経験できる点に魅力を感じ、志望しました。
- ③ 若手の意見も積極的に取り入れてくれる雰囲気があり、1年目から現場訪問など多様な経験を積むことができます。ぜひ説明会に参加してみてください。

資源エネルギー環境部  
資源エネルギー環境課  
**古俣 聡宏**  
Komata Toshihiro (行政)



- ① 資源エネルギー環境部内の調整を行う総括業務のほか、メルマガ配信など広報業務も担当しています。
- ② 地域に関わる学部にも所属していたため、国としての大きな視点を持ちつつも、直接現場と関わることができる点に魅力を感じました。また、座談会や官庁訪問で職場の温かい雰囲気を感じたことも決め手の1つです。
- ③ 優しい上司や先輩方のサポートのもと、1年目からでも安心して挑戦できる職場です。ぜひ説明会や官庁訪問にお越しください!

資源エネルギー環境部  
カーボンニュートラル推進課  
**福本 航**  
Fukumoto Kazu (行政)



- ① 局内外との調整や来局・電話対応をはじめとした総括業務に加えて、当課で所管している税制の審査や認定を中心とした執行業務を担当しています。
- ② 国というマクロの視点を持ちつつ、地域というミクロの視点も持ち現場の声を政策に活かせる点にとっても魅力を感じました。
- ③ 優しく頼れる先輩方に囲まれ、とても風通しが良い職場だと思います。説明会に参加して当局の業務内容や雰囲気を感じてみてください。

資源エネルギー環境部  
新エネルギー対策課  
**伊澤 拓人**  
Isawa Takuto (行政)



- ① 主に総括業務、再生可能エネルギー普及に向けた振興業務、FIT制度認定審査を担当しています。
- ② 国家公務員として大規模な業務に関わりながらも、現場に近いところで企業支援や地域活性化に貢献できることに魅力を感じました。
- ③ とても働きやすく、また、ヒアリングや企業訪問などで実際に現場に出る機会が多く、やりがいを感じられる職場だと思うので、ぜひ関東経済産業局と一緒に働きましょう! 公務員試験、頑張ってください!

資源エネルギー環境部  
電力事業課  
**伴 好成**  
Ban Kosei (行政)



- ① 課内の調整や取りまとめを行う総括業務に加え、発電事業の届出受理など、電気事業法に基づく法執行・規制業務を主に担当しています。
- ② 国と地方の両方の役割を担える局で、地域経済の活性化に貢献できる点に魅力を感じ、志望しました。また、職員の人柄にも惹かれました。
- ③ 優しく頼れる上司に支えられ、日々成長を実感しながら働いています。プライベートも充実できる環境です。ぜひ説明会にご参加ください!

関東東北産業保安監督部新規採用職員のご紹介

関東経済産業局と関東東北産業保安監督部は一緒に採用活動しており、関東東北産業保安監督部で採用された新規採用職員についても、紹介いたします。

関東東北産業保安監督部  
電力安全課  
**山崎 航太郎**  
Yamasaki Kotaro (行政)



- ① 電気事業法に基づいた各種届出の受理や発電所の技術基準に関する問い合わせ対応、立入検査等を行っています。
- ② 親族から工事現場での労働災害や安全への取り組みについて話を聞く中で、現場で働く方々の安全を守ることに繋がる仕事に興味を持つようになり志望しました。
- ③ 立入検査や視察など外に出る機会も多く、視野を広げられる職場です! 先輩方は初歩的な質問にも丁寧に答えてくれます。専門外であっても気後れせず説明会にご参加ください!

# 技術系職員の活躍

関東経済産業局では、企業の技術開発支援やエネルギー政策を実施するにあたって、理系の専門的知見が非常に重要となっています。技術系職員の活躍事例を紹介します。



**A1** 以前、電気の計量関係の業務を担当していた際には、三角比を用いた計算や、細かな図面を確認する場面が多々ありました。そうしたとき、理系出身であったからこそ、数字に対する抵抗感が少なく、スムーズに理解できたと感じています。また、エネルギー分野に限らず、さまざまな業務でデータを扱う機会が多いため、数字に慣れていることは理系出身者ならではの強みの一つだと思います。

**A2** 最大の魅力は、幅広い分野の業務に携われることだと思います。私自身、これまでにエネルギー関連の規制業務や、中小企業支援の振興業務など、まったく異なる分野の仕事を経験してきました。異動の度に新しい分野を学び、視野を広げられることに大きなやりがいを感じています。

Economic Policy Department

地域経済部 地域企業支援室

青野 雄大 Seino Yudai

令和3年度採用・技術(林学)

## 技術系職員に3つの質問

**Q1** 技術職ならではの仕事、理系の知識が役立つことはありますか？

**Q2** 技術系職員として経済産業局に勤めることの魅力はありますか？

**Q3** 理系の受験生に向けてメッセージをお願いします！

自分の専門分野を活かしたい方はもちろん、技術系で公務員試験の対策をしているけれど、これまであまり関心を持ってこなかった分野にも挑戦してみたいという方にとっても、非常に魅力的な職場だと思います。

**A3** 関東経済産業局は、関東圏を中心に日本の経済を支える重要な役割を担っています。エネルギー、産業、地域経済など、どの分野においても理系の知識や論理的な思考力が求められています。専門分野にとどまらず様々なテーマに関心を持ち、柔軟に学び続けられる方にとっては、きっとやりがいを感じられる職場です。好奇心を持って新しいことに挑戦したい皆さんと、一緒に働ける日を楽しみにしています！

## CAREER PATH

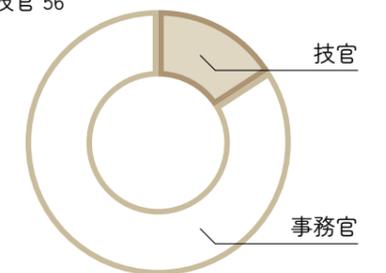
- 令和 3年 4月 資源エネルギー環境部電力事業課
- 令和 5年 5月 資源エネルギー庁電力・ガス事業部電力産業・市場室(出向)
- 令和 7年 5月 地域経済部地域振興課地域企業支援室

## 技術系職員の割合

職員数

事務官 309

技官 56



情報、機械、土木、建築、化学など様々な分野の職員が活躍しています！



**A1** 当局の仕事は、中堅・中小企業の成長支援、DX・GXの推進、消費者取引の適正化等、多方面に渡ってありますが、特にエネルギー施策関連の仕事で理系知識が大きく役立てられているものと感じています。例えば、再生可能エネルギー推進を担っている新エネルギー対策課においては、新設される発電所(太陽光、水力、風力、バイオマス等)の配線図や平面図を確認する場面が多々あります。また、以前、電力基盤の保安規制を担っている関東東北産業保安監督部の電力安全課に出向する機会がありましたが、そこでは技術基準と照らし合わせ、発電所、変電所、工場等の需要設備の保安状態を図面や現地で確認するといった業務を担当していました。上記のような仕事では、法的要素に加え技術的要素を必要とするため、学生時代に培った電気・電子工学の知見が役に立っています。

**A2** 新エネルギー対策課や電力安全課のように、技術的知見を全面的に活かせることも当然ながら魅力的であり技術系職員として有利となりますが、理系知識が必ずしも必要でない部署であっても、理系知識を有していることによって、その知識が有利に働くこともあります。例えば、中堅・中小企業支援では、頻繁に企業ヒアリングを行う機会があり、特に製造業等では専門用語が飛び交う場面もあります。理系知識を有することで専門用語にも対応できるだけでなく、さらに踏み込んだ質問をすることでより充実した

Natural Resources Energy and Environment Department

資源エネルギー環境部 新エネルギー対策課

倉島 正行 Kurashima Masayuki

平成20年度採用・技術(電気・電子・情報)

ヒアリングとなります。技術系職員ならではの視点で企業と接せられるところも、技術系職員の魅力の一つと考えています。

**A3** 「行政の技術職」というと、なかなかイメージしづらいかもしれません。私も入局する前は、数式や分析ばかりを扱ってきた人間が役に立てるのだろうか、疑問に感じていました。実際、所管法令やマニュアルを読み解いたり、文書を作成したりといった仕事が多く、理系出身者にとっては慣れない場面もありました。しかし、技術職だからこそ期待される仕事、できる仕事がたくさんあります。学業で培ってきた知見を当局と一緒に活かしましょう。

## CAREER PATH

- 平成20年 4月 資源エネルギー環境部資源エネルギー環境課
- 平成21年 5月 関東東北産業保安監督部電力安全課(出向)
- 平成23年 5月 原子力安全・保安院電力安全課(出向)
- 平成24年 9月 経済産業省商務情報政策局電力安全課(出向)
- 平成25年 5月 資源エネルギー環境部ガス事業課
- 平成26年 10月 資源エネルギー環境部新エネルギー対策課
- 平成28年 6月 関東東北産業保安監督部電力安全課(出向)
- 令和 2年 5月 総務企画部会計課
- 令和 4年 4月 東京東信用金庫(官民交流派遣)
- 令和 6年 4月 地域経済部デジタル経済課
- 令和 7年 5月 資源エネルギー環境部新エネルギー対策課

## 関東東北産業保安監督部の業務を紹介

関東経済産業局と同じ経済産業省の地方ブロック機関である関東東北産業保安監督部は、電力、ガス、火薬類や鉱山等に関する安全の確保、鉱山における鉱害等の防止を目的に、各種法令に基づく安全規制や指導等を行っています。関東経済産業局と関東東北産業保安監督部の間では、人事交流も盛んに行われています。



## 関東経済産業局の枠を超えて

関東経済産業局では、自治体、独立行政法人などへの出向や、民間企業への交流派遣制度などを通じて、外部機関での仕事を体験できます。今回は当局の枠を超えて活躍する職員を3名紹介します。



経済産業省 経済産業政策局  
地域経済産業政策課

石浜 太一 Ishihama Taichi

令和4年度採用・行政

地域経済産業政策課では、地域に関する総合的な政策の企画・立案・推進に関する業務を所管しており、私はその中で、特に地域における円滑な企業立地の推進に関する業務に取り組んでいます。

政策検討にあたっては、現場の声を把握することが重要であるため、企業や自治体への定期的なヒアリングを実施しています。そこで明らかになった規制面・資金面などの課題の解決に向け、法律による新たな措置の実現に向けて検討を進めています。関東経済産業局での業務でも現場の声を聞く機会は非常に多いですが、課題解決の手段として法律による措置を含めた検討や法改正業務に直接携われる点は、本省ならではの貴重な経験だと感じています。

本省の視点で業務を経験することで、経済産業省全体における関東局の業務の意義を改めて理解することができたと感じています。局での業務にとどまらず、幅広い経験を積めることも、局勤務の魅力の一つです。



相模原市役所 環境経済局  
経済部 産業支援・雇用対策課

寺林 哲 Terabayashi Akira

平成28年度採用・行政

相模原市は、都心からの好アクセスと沢山の自然に囲まれる「都市と自然のベストミックス」であり、またリニア中央新幹線の神奈川県駅(仮称)の設置や相模原駅北口地区のまちづくりの将来性など、大きなポテンシャルを持った街です。

その中で私は、工業振興・企業支援全般に携わっており、特にロボット産業振興を担当しています。市内企業が抱える生産性向上等に向けた課題に対応するため、ロボット活用や新たなロボットビジネス創出に関する事業を行っています。長期的な新たなまちづくり等も見据えて、ロボット産業についても転換点を迎えている中で、企業との意見交換を重ねて、課題分析⇒政策立案⇒施策実施と、責任感を持ちながら一貫して関わることが大きなやりがいです。

関東経済産業局には基礎自治体等からの出向者も多く、多様なバックボーンを持つ職員と働く中で私も自治体派遣を希望しておりました。出向を通じて、様々な経験を積むことができることは大きな魅力です！



株式会社武蔵野銀行 法人コンサルティング部  
法人営業グループ創業・新事業チーム

川田 瑞穂 Kawata Mizuho

平成27年度採用・行政

武蔵野銀行法人コンサルティング部創業・新事業チームでは創業やスタートアップ企業の支援、お客様の補助金の申請サポートを担当しています。局でも企業の方と直接やり取りをする機会はありますが、金融機関では比べものにならないほど企業との接点が豊富で、企業とのコミュニケーションの取り方を日々学ばせていただいています。

局との大きな違いは、局は補助金等の支援策の一つを担当として深掘りしますが、金融機関では数ある支援策を幅広く見てお客様に合うものをご提案する必要があります。一つの支援策だけでなく、たくさんの支援策を横並びで比較することで初めて気付く個々の制度の良い点や改善点があります。この気付きは金融機関で学ばせて頂いた私だからこそできる政策改善として、局に戻ってから取り組んでいきたいと思っています。

## 職場環境改善

関東経済産業局では、働きやすい環境作りのため、様々な取り組みを行っておりますので、その一端をご紹介します。

### 執務環境整備

Improving the working environment

働き方が多様になるなかで、業務効率化や生産性向上を目的に、職員の声を取り入れながらオフィス環境を見直し、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。



#### 執務環境整備プロジェクト担当者の声

オープンなフロアでは、部署の垣根を超えて気軽に意見交換ができます。大型ディスプレイを備えたガラス張りの会議室はオンライン会議やディスカッションに便利で、職員からは「コミュニケーションが活発になった」という声も多く聞かれます。集中して作業したいときに最適な1人用ワークブースも設け、シーンに応じて選べる柔軟で快適なオフィスづくりを進めています。

Establishment of teleworking environments

### テレワーク環境整備

仕事といえば、職場に出勤して行うものでしたが、近年はICTを活用して、在宅で勤務をする働き方(テレワーク)も一般的になってきました。

当局では、1人の職員に対して1台のPCを貸与し、自宅においても、職場と全く同じ環境で仕事をすることができます。組織として、オンライン会議システムやビジネスチャットツールも積極的に取り入れることで、多くの職員がテレワークでも効率的に業務を行えています。



#### テレワーク実施者の声

- 通勤時間が短縮されるため、子育ての時間に充てることができます。
- オンライン研修などはテレワークで参加することで、集中して受講することができます。

# 人材育成と能力開発

関東経済産業局では、経済産業省のミッション達成のため、「組織を支える人材の育成」が不可欠であると考えています。新規採用職員として入局した後は、様々な研修や制度を利用して、成長できる環境を整えています。

## 新人・若手職員向け研修メニューの一例

### 現場主義実践研修

On-site Practical Training

各種政策の企画立案にあたっては、地域企業の実態を理解することが重要です。当局では、職員が備えておくべき力として、地域の「現場」、特に地域企業の生の情報を収集し、課題を分析する力を重視しています。本研修は、企業分析の手法や企業訪問時のビジネスコミュニケーションを学び、企業ヒアリングを実践することを通じて地域企業の課題解決に取り組む上で必要となる情報収集・課題把握能力やヒアリングスキルの向上を目指します。



財務分析・企業分析編



企業訪問編

#### 財務分析・企業分析編

企業を支援する上で基本となる企業会計の基礎知識や、企業の本質的課題を捉え、適切な支援につなげるために必要な企業分析の手法、考え方について学びます。

#### 企業訪問編

実際に中小企業を訪問します。事前に、訪問企業・業界動向等についての情報収集、課題に関する仮説設定、質問すべき項目や考えられる支援策等の検討を行い、効果的なヒアリングを目指します。

### 局内兼業プロジェクト(KANTO DUO)

In-house side project "KANTO DUO"

自分が所属する部署以外に興味・関心のある部署の業務に従事できる局内兼業プロジェクトを実施。様々な産業分野・業務に携わることで職員の成長を促し、加えて兼業を可能とする働き方改革を推進しています。



ほんの一例ですが、こちらの写真は、危機管理・災害対策室に所属する3年目の職員が国際課の兼業プロジェクトに参加し、インドネシアへ出張した際のものであります。本出張では、日本企業の「グローバルで稼ぐ力」の強化を目指し、日本が有する防災技術・ノウハウを新興国へ展開するための調整業務を担いました。令和7年度は、この他にも、各種法律に基づく執行業務のスキルや、GX(グリーン・トランスフォーメーション)、資源循環といったエネルギー分野の知見を習得できるプロジェクト等をはじめ計10件ほど立ち上がり、のべ約60名の職員が本業と両立しながら他部署のプロジェクトに参加しています。

#### プロジェクト参加者の声

- 所属部署では経験できない領域に携わることができ、自身の知見や視野が深まった。
- 局内外のネットワークが広がり、業務をする上で連携しやすい関係が構築できた。
- 様々な業務や現場を垣間見ることができ、今後のキャリアを考えるきっかけや参考になった。

### トレーナー制度・メンター制度のご紹介

Trainer system / Mentor system

関東経済産業局では、一人の新人職員につき「トレーナー」及び「メンター」を配置し、組織全体でしっかりと成長をサポートする体制をとっています。ここではトレーナー・メンターそれぞれの役割をご紹介します。

#### トレーナー制度

トレーナーは、新人職員の「指導役」です。基本的に配属課の先輩職員から選定され、OJT (=実務の中で知識やノウハウを習得させること)により、1対1で指導・助言を行います。計画的に指導を進めるため、期初には新入職員とトレーナーとが話し合って目標を策定。期末に向けて振り返りを行い、目標達成を一緒に目指します。

#### メンター制度

メンターは職場環境での生活や業務上の悩みを相談できる存在です。直属の上司であるトレーナーに対し、メンターは配属課とは別の、比較的年齢の近い先輩職員から選定されます。メンターとは定期的にコミュニケーションを取ったり、随時、相談に乗ってもらうことができます。

#### 新規採用職員の声

- 席が近いので、業務上の不明点をすぐに相談することができ、丁寧に指導いただいています。定期的に行われる面談では的確なアドバイスをいただき、業務の見直しや新たな気づきにもつながっています。
- 身近な手本として、日々の行動や業務への取組など成長の方向性を意識するきっかけになっています。
- 同じ部内で年齢の近い先輩職員がメンターとなるため、仕事やプライベートのことを気軽に相談することができます。
- ランチに誘ってもらったり、困っていることがないか声をかけてもらったりと、大変心強い存在です。

### 主な研修メニュー

	新人職員	係員	係長	課長補佐	管理職
目標	1~6年目 まずは先輩職員の下で、職員としての基礎を身につけます。		7年目~ 政策の実行、企画立案の中心的役割を担います。外部出向のチャンスもあります。	これまでの経験を活かし、エキスパートとして、また、チームリーダーとしての役割を期待されます。	部下のマネジメント、対外的な発信などが多くなり、大きな責任感を求められます。
階層別研修 (国家公務員として求められるスキル・知識を習得し、高い使命感・倫理観をもって職務を遂行できる)	新人研修	2年目研修	係長研修	課長補佐研修	管理職研修
	国家公務員服務規律・情報セキュリティ・個人情報漏えい防止研修				
局全体の力を高めるマネジメント力/リーダーシップを身につける	OJT				新任管理職・管理職研修
	先輩職員のスキル・ノウハウ承継に資する研修プログラム				
	「キャリア」を語る座談会				
現場の課題・ニーズを的確に捉え、施策の立案や遂行に結びつける	現場感覚				
	政策ツール				
	現場主義実践研修、企業経営者との対話				
	本省業務基礎研修(予算・会計・税・法律・国会)				
	民間派遣研修				
幅広い視野や様々な知識を身につけ課題に対応する	発信力				
	局内施策説明研修				
	広報研修				
	ベーススキル				
	英語力向上支援(TOEIC試験)				
	簿記・企業財務・業務効率化研修(PCスキル等)				
	能力開発研修(リーダーシップ・マネジメントスキル等)				
	専門性				
	政策分野別専門研修(本省主催)				
様々な知識・経験の蓄積により、多様な業務に対応する	国際感覚				
	現場感覚				
	国際業務研修、海外留学				
	東日本3局合同研修				
	民間派遣研修(再掲)				
	福島・第一原発見学研修・被災地支援報告会				
	多様なテーマによるフォーラム、BBL、自主企画勉強会				
	講座等受講補助制度(関東局版学び支援制度)				

# 職員の1日と、オフタイムに密着

職員が実際にどのような1日を過ごしているのか紹介します！



General Coordination and Policy Planning Department  
総務企画部  
政策評価広報課  
令和6年度採用・行政

局内の情報インフラの保守・運用を担当しています。また、定例の記者会見の運営や公式noteの更新等、広報業務にも携わっており、現場の最前線で働く職員を支える立場として、日々やりがいを感じながら業務に取り組んでいます。

- 6:10 ▶ 起床
- 8:30 ▶ 業務開始  
今日は定例プレス・ブリーフィングと呼ばれる記者会見が行われるので、カメラの調整等開催準備を朝のうちに済ませます。
- 11:00 ▶ 定例プレス・ブリーフィング
- 12:00 ▶ 昼食  
いつもお弁当を持参して、同期や局内の方と談話しながら昼食をとっています。
- 14:00 ▶ 業務システムの移行に関する打ち合わせ  
より働きやすい環境を目指して情報インフラの総入れ替えを行うため、各課が使うシステムについて、課の職員や事業者とシステムの移行方法等打ち合わせます。
- 17:15 ▶ 業務終了、退庁



**Private**  
仕事帰りや休日には、職場の方と旅行や遊びに行くことが多いです。夏休みには同期と1週間マレーシア・シンガポールを旅しました！職場の雰囲気が良い、普段から気軽に話せる方が多いため、自然と交流の機会も増えています。



Industries Department  
産業部  
中小企業課  
令和6年度採用・行政

中小企業の強靱化・生産性向上を支援するため、事業継続力強化計画や先端設備等導入計画に関する業務を行っています。企業や関連団体を訪問する機会も多く、担当する施策が現場でどのように活用されているかを直接見ることができるため、社会に役立っている実感を持ちながら日々働いています。

- 6:30 ▶ 起床
- 8:30 ▶ 業務開始  
事業者・自治体からの問い合わせに対応したほか、事業継続力強化計画の審査業務を行いました。
- 10:00 ▶ 関連団体との打合せ  
中小企業の強靱化を支援するため、企業の抱える課題や必要な支援について意見交換を行いました。
- 11:30 ▶ 移動・昼食  
セミナー会場へ移動し、周辺で昼食を取ります。
- 13:00 ▶ セミナーに登壇  
リスクファイナンス判断シートの活用について、事業者へ説明しました。防災・減災対策の重要性が伝わるような講演を心がけています。
- 15:00 ▶ テレワーク開始  
セミナー終了後は帰宅し、午前中に行っていた審査業務の続きを行いました。テレワークを活用し、業務にあわせて柔軟に働いています。
- 17:15 ▶ 業務終了、退庁



**Private**  
業務終了後には同期や職場の先輩方と飲みに行ったり、近くの商業施設で買い物をして帰ることも多いです。休日には友人や同期と会ったり、自宅でのんびりと過ごしています。写真は、同期と那須旅行に行ったときのものです！

# ワークライフバランス 育児や介護と仕事の両立

関東経済産業局では、ワークライフバランスの実現に向けて、様々な支援制度をご用意しています。今回は、実際に制度を活用した職員の事例も交えてご紹介します。



Natural Resources Energy and Environment Department  
資源エネルギー環境部  
電力事業課  
係長  
金沢 匠真  
Kanazawa Takuma  
平成27年度採用・行政



私は1歳の子供のパパをしています。私は子供が生まれた際に、2回の育児休業を取得活用しました。子供が生まれた直後に1度目の育児休業を1か月半ほど取得し、業務との関係で一度復帰しました。その後、所属長から「もう一度取っても良いと思うよ」とのお言葉をいただき、同僚のサポートもあり、子供が生後6ヶ月の頃に2度目の育児休業を再度1か月半ほど取得しました。結果的に2度タイミングを分けて取得できたことで、違ったフェーズでの育児に集中して取り組むことができるとも良かったと感じています。おかげさまで子供との関係も良好です。復職した今は、テレワークを活用しながらメリハリをつけて仕事をし、理解のある上司の下、ワークライフバランスを図りながら育児にも積極的に取り組んでいます。また、看護休暇制度も小さい子供のいる身としては大変助かる制度だと感じています。当局は育児等に対する理解が浸透しており、制度があるのはもちろん、その制度を活用しやすい職場で、仕事と育児の両立がともしやすい職場だと実感しています。

「男の育休」取得率 100%

「男の育休」とは、男性職員が子どもの出生後1年以内に1ヶ月以上、育児に伴う休暇・休業を取得する政府の取り組みです(令和2年度開始)。※令和6年度に子どもが生まれた男性職員を対象にしています。



Economic Policy Department  
地域経済部  
地域振興課  
係長  
藤田 さとみ  
Fujita Satomi  
平成29年度採用・技術(電気・電子・情報)



私は2歳の男の子を育てるママ職員です。産休・育休を10か月取得し、現在はフルタイムで働いています。テレワークとフレックスタイムの制度を組み合わせることで、子供の体調や予定に合わせて、柔軟な働き方ができています。特に、職場のサポート及び登庁日とテレワーク日で勤務時間の長さを変えることにより、毎日同じ時間に保育園への送り迎えができ、子供との時間も確保できている点は大変助かっています。私の所属している部署では、小さい子供をもつ職員が多いため、子供の急な発熱等で休まなければならない場合に備え、日頃から上司やチーム内で業務の進捗等を共有することで、お互いがフォローできるように心がけています。また、当局では育休中も含め、働き方や配属の希望を職場に伝えられる機会が年1回あり、出産後も職場のサポートを得ながら、自身が希望した企画業務に携わることができ、子育てをしながらも自身の成長を感じられる働き方ができています。

女性職員の育休復職後の就業継続率 100%

多くの女性職員が短時間勤務制度などを活用し、育児休業から復職した後も仕事と育児を両立しています。※令和元年度～6年度に育児休業から復職した職員を対象にしています(令和8年1月時点)。

## よくある質問にお答えします

### Q 給与について

**A** 262,160円(令和7年4月一般職試験採用職員(大学卒業の場合)の基本給のほか、諸手当は住居手当(月額最大28,000円)、通勤手当、扶養手当等※が支給されます。  
※令和8年4月より、扶養手当の見直し等が予定されております。詳細は人事院のホームページ等をご確認ください。

### Q 勤務時間について

**A** 1日あたり7時間45分です。複数の出勤段階からご自身で選択可能です(時差出勤)。育児や介護等のために柔軟な働き方ができるよう、フレックス勤務等の制度もご用意しています。

### Q 人事異動について

**A** 各人の能力を十分に発揮できるように、毎年、職員から配属に関する希望調書を取り、適性等を勘案して総合的に判断して決めています。2~3年くらいの割合で人事異動があり、多くの業務に携わる機会があります。

### Q 採用の流れについて

**A** 国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)を受験し、当局に官庁訪問を行ってください。2025年度においては以下のとおり実施しましたが、受験する年度によって異なりますので、詳細は人事院のホームページ等をご確認ください。



### Q 採用人数について

**A** 過去5年間の採用人数は以下のとおりです。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総数(うち女性)	12人(2人)	11人(7人)	11人(4人)	13人(5人)	20人(7人)
行政系	9人	9人	8人	12人	20人
技術系	3人	2人	3人	1人	0人

※関東経済産業局及び関東東北産業保安監督部あわせての実績です。

### Q 今後の説明会の予定について

**A** 随時説明会等の開催を予定しております。  
メールマガジンでもご案内しておりますので、以下HPよりご登録ください。  
[https://www.kanto.meti.go.jp/mailmagazine/saiyo\\_melmaga.html](https://www.kanto.meti.go.jp/mailmagazine/saiyo_melmaga.html)



## 採用担当からのメッセージ



このパンフレットを通じて、  
関東経済産業局のことを少しでも知っていただけたでしょうか。  
私たちがどんな想いで仕事に取り組んでいるのか、  
その雰囲気を感じてもらえたなら嬉しいです。  
地域や企業の声丁寧を受け止め、政策に反映する——  
それが私たちのミッションです。  
現場に足を運び、人と信頼を重ねながら、  
地域に必要とされる解決策を形にしていきます。  
現場で得られる生の声は、  
机上の情報だけでは決して見えない課題を教えてください。  
だからこそ、相手の立場を理解し、課題を自分ごととして考える——  
その一歩が、現場に本当に役立つ政策を生み出します。  
今、就職先を選ぶという大切な一歩を踏み出す皆さんへ。  
私たちは「地域とともに歩み、日本を元気にしたい」という思いに共感し、  
共に挑戦してくれる仲間を求めています。  
あなたの一歩が、地域に新しい可能性を生み出します。  
さあ、一緒に挑戦しませんか？

総務課長 猪俣 智子

